

事例3

< 事例概要 >

出血

- ① 80 歳代、血小板減少性紫斑病、骨髓異形成症候群、慢性心不全、心房細動の患者。
- ② 末梢血管確保が困難のため、中心静脈カテーテルを留置予定。
- ③ BMI 21.2 kg/m²。脱水あり。血小板10 万台/μℓ。抗凝固薬を服用しており、休薬なし。
- ④ 右鎖骨下静脈より超音波を使用せず穿刺。3 回目の試験穿刺で逆血を認め本穿刺するが逆血なし。再度の試験穿刺と本穿刺で逆血確認し、ガイドワイヤーを挿入したが抵抗あり。一旦ガイドワイヤーを引いて、再度25 cm挿入するが抵抗あり。その直後、呼吸困難感出現し、心肺停止。急変から約1 時間半後に死亡。
- ⑤ 死因は、右頸動脈損傷（疑い）による出血、気管圧排による窒息。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。